

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2024年1月31日

全利用者数: 33世帯(提出 32世帯、未提出 1世帯)

事業所名:とものわ親子教室

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	親子クラスはお子様の年齢や特性に合わせて分けられており、人数調整をしています。母子分離療育でも人数調整のため、部屋を分けることがあります。	はい:32名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:0名 未提出:1名	今後も適宜人数調整し、安全で快適な空間を提供します。
	2 職員の適切な配置	規定に応じた人数を配置しています(幼稚園教諭、保育士、心理師)。通常7人の職員が配置されています。	はい:32名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:0名 未提出:1名	今後も配置基準を順守して継続します。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	お子様の特性に合わせた環境を整えています。活動に応じて部屋を変えたり、視覚化してバリアフリー化しています。	はい:32名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:0名 未提出:1名	現状維持で継続します。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の清掃を丁寧にして清潔を保っています。また活動に合わせて安全に遊べるよう配慮しています。	はい:32名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:0名 未提出:1名	日々の清掃に努め、活動に適した空間を提供します。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	朝礼及びセッション後の振り返りを毎日行います。職員間で意見交換を随時行い情報共有しています。		現状維持で継続し、職員間で積極的に参画します。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	定期的に行われている市の実地指導が今年度はありました。		市から頂いたアドバイスを今後の業務改善に繋げていきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	年間計画を立て各種研修を実施しています。職員の資質向上の研鑽に努めています。		現状維持で継続します。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	親子クラスでは、保護者交流会でその日の感想をお聞きして保護者のニーズとお子さんの現状をリアルタイムで共有して個別支援計画に繋げています。		お子様の発達と保護者のニーズを客観的に分析して今後もお子様に合った支援計画の作成に努めます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別と集団での活動内容を踏まえて個別支援計画を作成しています。	はい:32名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:0名 未提出:1名	今後も個別と集団に分けてわかりやすい支援計画の作成を行います。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	県指定の個別支援計画の様式を使用しており、お子様に合わせた項目を記載しています。		今後もお子様に合わせた項目を検討をし、具体的な支援内容を記載します。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画に基づき職員、保護者と共通理解を持ちながら支援、配慮して行っています。また、お子様の状況に応じてその都度、臨機応変に対応方法を考えながら接しています。	はい:32名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:0名 未提出:1名	適切な支援を実施できるよう努めます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	年間プログラムを大まかに立てています。毎回療育終了後振り返りを実施し、各クラスのリーダーを中心に活動プログラムの立案を見直し行っています。		現状維持で継続します。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	保育園、幼稚園にお通いで平日利用しにくいお子様に対し、長期休暇中「母子分離療育」「手先の遊び」のご利用を提供しています。	はい:30名 どちらともいえない:1名 いいえ:0名 わからない:1名 未提出:1名	現状維持で継続します。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	各担当者と協議しながらお子様の様子に合わせて活動を展開しています。活動に慣れる為や狙いがある活動で固定化することもあります。		現状維持で継続します。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前に療育内容、支援方法、留意点、近日中のお子様の状況確認など職員で共通理解できるようリーダーを中心に確認の徹底をしています。		現状維持で継続します。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	お子様の様子を振り返り、支援内容の見直し、改善点について話し合い、話し合った内容の記録を全職員が閲覧できるようにしています。		現状維持で継続し、職員間で情報を共有します。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	サービス提供における記録は全て書面にて作成、保管しています。支援の検証、改善に役立て実施しています。		支援の記録を継続し支援の検証、改善を職員間で徹底します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	モニタリングの際に職員間で定期的に会議を開いて、支援計画の見直し、作成を行っています。	半年毎の支援計画の見直しを継続します。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	相談支援員と情報を共有したり、保育園や幼稚園の要望に応じて情報共有や資料の提供を行って今後の療育に繋げています。	今後も要望に応じます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当なし。	該当なし。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当なし。	該当なし。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者から依頼がある際、幼稚園や保育所にお子様の様子をまとめた資料や電話で情報提供しています。また幼稚園や保育園の先生が当事業所に見学に来られたり、こちらが見学に行かせて頂いたりしています。	今後も要望や必要に応じて情報提供を行います。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	該当なし。	該当なし。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関とは必要に応じて連携します。定期的はありませんが専門機関の研修に職員が参加しています。	今後も研修の受講を促進していけるよう職員の業務を調整して行います。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在は行っておりません。	はい:2名 どちらともいえない:2名 いいえ:26名 わからない:2名 未提出:1名

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	実施しておりませんが地域住民とは何かあれば連絡頂ける体制になっています。		今後も挨拶やコミュニケーションを大切にしてお互い関係作りに努めます。	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援内容は随時お伝えしています。利用者負担額については契約時に必ず説明しており、請求の際は明細を付けております。	はい:32名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:0名 未提出:1名	現状維持で継続します。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	年2回保護者に個別支援計画の説明を丁寧に行っています。	はい:32名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:0名 未提出:1名	現状維持で継続します。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	親子で通う時間では職員とお子様とが接する姿や遊ぶ様子を実際に見て感じることで、保護者の方と支援の仕方や関わり方を一緒に考察したり共有しています。又お子様とは別室で保護者交流会を行い、発達の特性や親自身の安定に向けたお話やワークをしています。	はい:31名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:1名 未提出:1名	現状維持で継続します。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	クラスでは保護者交流会の時間に事前に活動内容や配慮点などを事前にしたり、活動後には振り返りをして共通理解ができるよう努めています。母子分離療育では送迎時にお子様の様子について話し、共通理解に努めています。	はい:32名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:0名 未提出:1名	現状維持で継続します。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からの相談があった場合は適宜時間を設け個別対応しています。保護者交流会の場や日々の連絡ノートを通して相談事も扱っています。	はい:32名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:0名 未提出:1名	現状維持で継続します。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	療育中に毎回保護者交流会の時間を設けることで保護者同士のつながりや交流を深めるきっかけとなっています。	はい:8名 どちらともいえない:3名 いいえ:20名 わからない:1名 未提出:1名	現状維持で継続します。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情窓口について契約時に保護者に説明しています。苦情があった際には児童発達管理責任者が迅速に対応します。	はい:26名 どちらともいえない:2名 いいえ:0名 わからない:4名 未提出:1名	安心してご利用して頂けますよう保護者のご意見を尊重します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	視覚支援(実物、イラスト、写真等)を使ってわかりやすく伝えています。保護者に対しては日々の連絡ノート、送迎時に直接話して意思疎通しています。	はい:32名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:0名 未提出:1名	今後も丁寧な対応に努めます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	療育の活動の様子をホームページのブログにてお伝えしています。日々の連絡事項は直接口頭での説明、掲示、またメールにて発信しています。	はい:27名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:5名 未提出:1名 ご意見:会報やHPは見えていない。	ホームページのブログの存在を契約時や療育の保護者交流会で伝えブログをプリントアウトし掲示し周知しています。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取り扱いについては鍵付きの棚に入れ保管しています。ブログに関しては保護者の承諾を得たお子様のみの顔は隠して掲載しています。	はい:32名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:0名 未提出:1名	適切な取り扱いに努めます。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを策定し事務所に掲示。保護者には契約時に配布しています。保護者交流会では、更に丁寧に説明し熟知して頂いています。	はい:31名 どちらともいえない:1名 いいえ:0名 わからない:0名 未提出:1名 ご意見:療育内では実施しているが参加したことがない。	改善点があれば随時見直しをしています。職員間で周知徹底をしています。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年間計画を立て職員、職員と保護者の訓練を行っています。お子様に合わせて安全な場所へ集まる練習など部分的な訓練をして意識付けをしています。	はい:29名 どちらともいえない:1名 いいえ:0名 わからない:2名 未提出:1名	今後も災害に向け避難訓練を継続します。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年1回全職員の研修の実施をしています。		社会情勢を捉えながら防止に努めます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	該当なし。		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時にアレルギーの有無、対応方法の確認をしています。おやつは成分表を提示し保護者の確認をお願いしています。特にアレルギーの気になるお子様へはおやつ一覧表を配布し保護者の承諾した物のみを提供し徹底しています。		現状維持で継続します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット、事故報告書を作成しています。再発防止対策会議を開いて共有徹底しています。事務所内にファイルを綴じ随時閲覧できるようにしています。		今後も定期的に再発防止対策会議を開いて職員間の共有と共に再発防止に努めます。